

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

						No.	24-003	
PDCA	事務事業名	都市計画マスタープラン改定事業	部課等名	建設部都市計画課 都市計画担当	担当	林		
					内線等	446		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 1. 市街地整備						
		単位施策：						
	根拠法令等	都市計画法						
	対象・目的	市の都市計画に関する基本的な方針を定めた都市計画マスタープランについて、現行の計画期間（平成23年度～令和2年度）満了に伴い、社会情勢の変化を踏まえ改定を行う。併せて、都市構造の集約に向けた施策を定めた立地適正化計画を策定する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	上位計画である総合計画との整合を図りながら、市民アンケート、ワークショップ、策定委員会及びパブリックコメントにより、市民の意見を反映させる。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		30年度	R1年度	R2年度	単位	
		策定委員会の開催		-	2	2	回	
		事業費		-	12,747	10,842	千円	
		人件費		-	5,589	5,555	千円	
		総事業費		-	18,336	16,397	千円	
		活動単位当たりのコスト		30年度	R1年度	R2年度	：単位	
			-	-	-	千円		
	成 果	成果指標		30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①全体構想の素案の策定	実績値	-	100	-	%	
			目標値	-	100	-		
		②都市計画マスタープランの策定	実績値	-	-	100	%	
目標値			-	-	100			
		実績値						
		目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	B						
		学識経験者、農業委員会等の各種関係団体の代表、行政機関の代表等で構成された策定委員会に諮り、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定した。計画の作成にあたっては、中学校区ごとのワークショップの開催やパブリックコメントの実施により、広く市民の意見を計画に反映することができた。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了					
			当事業は令和2年度で完了。					
		令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位
							目標値	
				目標値				